

1. 件名：委託事業「高速炉シビアアクシデント時のセシウムエアロゾル挙動試験」に関する打合せ

2. 日時：令和 5 年 1 月 27 日（金） 15:00～16:30

3. 場所： 東京都市大学世田谷キャンパス 10 号館 523 号室、及びテレビ会議

4. 出席者：

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

石津朋子主任技術研究調査官、園田大貴技術研究調査官、井上正明技術研究調査官

学校法人五島育英会東京都市大学 教授 他 2 名

日本核燃料開発株式会社 2 名

5. 要旨：

ナトリウム冷却高速炉では、シビアアクシデント時に機械的エネルギーの放出によって回転プラグ等の 1 次系バウンダリが損傷すると、炉心から放出されたセシウムが大量の液体のナトリウムとともに空気雰囲気格納容器内に移行する可能性がある。格納容器内で、ナトリウムやセシウムは化合物エアロゾルとなり、格納容器内壁面や床上への沈降・沈着、化合物エアロゾル同士の吸着・脱着を経て移行するものと考えられる。システム安全研究部門では、被ばく評価上重要な核分裂生成物（FP）の 1 つであるセシウムについて、その化合物エアロゾルがナトリウム化合物エアロゾルとともに格納容器内のコンクリートからの湿分環境下で共存する時の物理挙動を、試験及び評価により検討している。

本会議では、東京都市大学への委託事業「令和 4 年度原子力施設等防災対策等委託費（高速炉シビアアクシデント時のセシウムエアロゾル挙動に関する試験）事業」のキックオフとして、提出書類、実施体制及び実施工程について確認するとともに、試験・分析計画及び熱力学的安定性評価の条件等について議論した。また、報告書のまとめ方等について意見交換を実施した。

6. 配布資料：

「令和 4 年度原子力施設等防災対策等委託費（高速炉シビアアクシデント時のセシウムエアロゾル挙動に関する試験）事業」実施計画書